

広報



ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話 (018876) 代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話 (018876) 2430番 (一部五円)
郵便番号 018-17 毎月11・15日発行

家庭と役場を結ぶ
専用電話 三七一一番
ミニナイ

この電話は町に対する、ご要望・ご意見・苦情などを受け付けるほか簡易な用件も受けつけています。
「例えば戸籍・住民票の謄抄本を何日の何時頃まで何通作っておいてもらいたいと言うようなこと」設置場所は秘書室で、住民課窓口・総務課へも切替えができます。
お気軽にご利用ください。

・ 秋田県五城目町 ・

※町政と町民をむすぶ広報紙



はばたく若い芽 大寒……さむさに負けず今日も竹刀を振る。この中に秘められている闘志……
なにか力強いものを感じる。若い芽よはばたけ…… (五城目第一中学校にて 大久保利雄氏提供)

2月のおもな行事

| | | | | | |
|-----|---------------|-----|-----------------|--------|-------|
| 4日 | 昭和46年度町長予算査定 | 14日 | 全町青年大会 | 前10,00 | 公民館 |
| 8日 | 所得・事業・住民税申告相談 | 16日 | 男鹿・南秋税務等共同処理勉強会 | 前10,00 | 役場 |
| | 前9,00~4,30 | 16日 | 農業近代化ゼミナール移動研修会 | | |
| | ~(3月15日) | 17日 | 農村婦人健康調査 | 後1,00 | 馬川公民館 |
| 9日 | 交通指導隊員会議 | 17日 | 率浦大学卒業式 | 後1,00 | 公民館 |
| 10日 | 農業委員会総会 | 18日 | 国保運営協議会 | 後1,30 | 公民館 |
| 13日 | 消防幹部会 | 18日 | 商工青年ゼミナール | 後1,30 | 公民館 |
| | 後1,00 | | | | |
| | 後10,00 | | | | |
| | 後2,00 | | | | |

おもな内容

| | | |
|----|--------|-----------|
| 2面 | グループ紹介 | 五城目郷 |
| | 人会 | 里のはなしっこ |
| 3面 | 住みよい町に | 歌血あり |
| | がとう | 善意 |
| 4面 | 2月8日 | 住民税の申 |
| | 告知 | 私の研究「生活 |
| | 相談 | の共同化について」 |

広報サロン

農業に生きている
加藤 松子



昨年高卒と同時に農作業に手伝った私。「何の抵抗もなく……」と言えはやはり嘘になつてしまつた。やらなければならぬ。「やってみよ」と言う気持ちがあつた。
農作業はやはり私にとってきつかった。暑さに弱い私は玉の汗をかいて除草機を押し、しかし仕事が終わったあとのすがすがしさ、働らくことの喜び。「農業をやつていて良かった」とつくづく感じる私だつた。

秋の農繁期も過ぎ平凡な毎日を送っていた私は又疑問を抱き出した。「同級生は皆社会に出て活躍している。私だけがこのままいいのだろうか……」一度は決心した農業だが前途不安。
自分だけにやる気があつたとしても私自身の力だけではどうすることもできない。このままでは自分だけがみんなから取り残されてしまう。私も社会に出て自分の眼でものを見、聞き、もつと成長しなくては行けない。と、余願かなつて就職した私だつたが、私はそこで改めて農業のすばらしさを知つた。「やはり私に合っているのは農業だ、これからはずっと続けて行こう」と、農業に生きていることに決めた私には張りが出て来た。今後の農政はきびしい。安定した生活を求めてまた私の心は揺れ動くことがあるだろう。しかし現状にくじけずがんばろう。明日の農業をめざして……。

学農会員

全国青年問題研究集会 (東京)

青年が集団や、生活の中でつちかってきた実践を通して、よこびや、なやみな問題をもちこんで研究探索する「秋田県青年問題研究集会」はさる一月十五日から三日間新装の秋田県青年の家、秋田県青年会館で開催されました。

この集會では全県の青年百三十人が参加し、十分科会におかれて討議したもので、本町から参加した青年のうち次の四人が三月下旬東京でおこなわれる全国集會に選考されました。

- ▽青年会と他集會および部落の関連 石井 妙子(富田)
- ▽生活改善について女子活動の方 向つけ 佐々木ヒナ子(寺庭)
- ▽仲間づくりとスポーツ活動 一関三重子(久保)

全国青年農業者会議県代表

工藤卓美君(下樋口)えらばれる

▽生活課題にとりくむ女子活動 佐藤 房子(門前)

農業近代化ゼミナール会員がこの一年間ゼミナール学習を通じて学び実践した成果を発表しそれを素材として話し合い交流を行なう「第十回秋田県農業近代化ゼミナール実践発表大会」は、このほど秋田市でおこなわれ、これで優秀な

①不動産を買ったときは、次のような税金がかかります。
 ②登録免許税
 ③土地の登記の際にかかる税金(国税)で、売買に
 ④所有権の移転登記の場合には不動産価額の五%、新築家屋の所有権の保存登記の場合は、六%ですが、一定の要件にあてはまるものは税率が軽減されます。
 ⑤不動産取得税
 ⑥不動産を手に入れたときにかかる税金(県税)で税率は不動産価額の三%ですが、一定の要件に当てはまる場合は特別控除があります。

◎住宅と税金

里の陥穽

(2) 門前散策

齊藤 明

五城目の町から北ノ又線を東へ町村部落から左へ約六百メートル所に門前部落がある。現在戸数わずか十五戸の小さな部落だが、その周辺一帯が歴史に豊んだ所として知られている。部落から西北三百メートル所に四方絶壁のかつての馬場目城跡があり山々から愛されている



向つて左側に広徳寺、右側に門前部落が見える。写す。

広徳寺はその頃(慶長六年)開基されたオンコと伽藍といえは蛇オンコは今から四百二十年程前の永禄の頃三浦一族が前記の館に居城を構えた時ここに茶亭を造りオンコを植えたといわれ、専門家の話によると樹齢四百年から四百五十年というから馬場目城と茶亭であった現在の広徳寺境内との関連がうなづけると思う。つまり茶亭の後地に現在の広徳寺が建てられたわけである。

又そのオンコが蛇オンコといわれるのは、竜が手前の池の水をのめうとしている樹根からだか、オンコの一団が、一本の本木のか敷本なのかはわからない。五、六年前までは数百年のオノコのために群をなして池に集まり、多くの見物人までぎわったものだが、近年はどうしたものでか一匹のガマさを見るのが出来なくなり誠にさびしい限りである。十和田湖を思わせる門前堤

家庭教育や家庭づくりをしなから、女性の特技を生かして、趣味と実益をはかっているグループが「五城目婦人会手芸グループ(代表佐藤貞生)」です。四年にグループが誕生し、十五人の会員が、リース編みや、ビーズ刺しゅうをして、買物袋、サワイ、ハンドバッグなどを製作しています。

年間十万円位の収入が、盛り上がり、収入のこよりも創造することのよこびが大きいようです。

このグループは県内職達協議会からの表彰とグループ員七人が個人表彰をうけるなど、つねに立派な作品をつくって、デザインや技術も年々高いものが求められてきて、いかにですますます学習を深めようとして、ばつています。

地元の人は館とよんでいる。広徳寺の北側には蛇オンコで有名な所には小さな十和田湖と現れている湖ノ沢(真崎堤)がある。そして部落の南には樹令三百年位と推定されるイチヨウの太木のある土産神社がある。

馬場目城跡 先ず馬場目城跡だが、鎌倉時代から城があったといわれ、歴史学者の話によると三浦一族(馬場玄著丞所)によって築城されたものだというが、その後天...頃今

田舎に入るとこの部落にも土産神社があるのだが、門前にも薬師神社という社がある。その社におおきかぶるように太い枝を四方にのびたイチヨウの太木がある。前記のように樹令三百年、太さが周囲四米程の大きな古木で、私共がおぼえてからも五回程の落雷があったが、木の生命力の強いの救いからなかなか枯ることもなく毎年毎年おどろく程太くさんの実をつけている。部落の人々はこの実を期間関係して冬の夜長にストーブで焼いて食べたり土産としてよその人へ提供する。いわば門前の名産であり部落民の自慢の品でもある。

協調で住みよい部落づくり。昔武士だったか城を築くには殿所の所であったかもしれないが、現代の人間生活を営むにはいささか不便であるとはいえないが、水と空気と人とははかばかしいが水と空気が心はさびしいが美しい。住みよい部落造りに努力したいと思う。▽記事の取材に感謝します。分銅良一(石岩岩宗、真崎曜、改良区

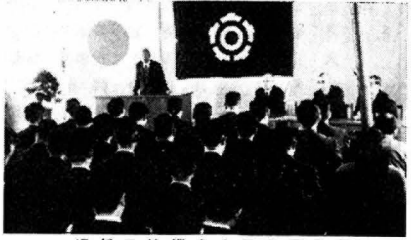
環境をきれいに 住みよい町に

環境の美化については、日頃深い関心と暖かいご協力をいただいておりますが、最近雪がとけてみると、町内のいたるところに「ごみ」の投棄がみられ、住みよい町づくりのために困っております。

まず焼却出来るごみは、町で発行のポリ袋に入れるとか各家庭で焼却処理し、不燃物(ガラス類・金属類)はボール箱等に入れて、不燃物の票をつけて処理されるように、但しこれらはごみ収集対象区域のみです。河川や空地等にごみを不法投棄して、町の美観を損じたり、伝染病や悪臭等の発生源にならないよう良心に訴えて処理してほしいものです。次の代を担う子ども達のためよき手本になって町民みんなが手をとって、文字通り明るく住みよい町にしたいのです。今まで以上にご努力ください。お願いします。

1月14日 館岡助役離任

かねて健康上の理由で、依頼退職を願っていた館岡助役の離任式が一月十四日午前九時から役場第一会議室で行われました。



退任の挨拶をする館岡助役

当日は加賀谷町長から、本日に誠実に務めて回館岡助役さんが去るにあたっておしまれて去るといことを自分

二月一日 全県一斉に農家調査

町と県では二月一日現在で、農家調査を行なう。過去一年間の農業に調査するもので、当町の調査員はつぎのとおりです。

- 石井勇、伊藤幸雄、斉藤忠一、石井貞孝、石井良雄、小玉俊一、小玉芳雄、田村喜美治、石川力也、小玉勇悦、佐々木久米雄、石川良司、金沢弘治

- 富津内地区
大石専之丞、大石彦司、阿部一石井次郎、伊藤隆一、伊藤徳雄、伊藤重郎、伊藤重孝、畠山正一、伊藤雄雄、小玉徳太郎
- 内川地区
佐藤義三、伊藤竹雄、畑沢敬郎、小玉都夫、沢田石栄之助、松橋

- 五城目地区
三浦俊成、館岡金男、館岡一、一関重四郎、斉藤一、猿田郁男、鳥井猪一郎、猿田勘五郎、斉藤正雄、斉藤長吉、渡辺悦郎、渡辺正郎
- 馬場目地区

- 大川地区
小熊昭太郎、浅野巳之松、伊藤準一郎、進藤克巳、工藤安太郎、加藤吉太郎、小玉克巳、佐藤昌一、佐藤善隆
- 面瀨地区
小野幸一郎、佐々木与雄吉、千田良次、加藤茂

具民手帳をどうぞ
昭和四十六年度、具民手帳の在庫が若干ありますので、ご希望の方は総務課統計担当者にご連絡ください。

昭和四十六年度 予算査定中

町の昭和四十六年度の予算は、各課室からの要求が二十三日で出そろい、二十六日から総務課長査定を進められ今日終了し、四日から町長査定に入る予定です。昭和四十六年度の町づくりの展望は十日前後にきまり、町議会三月定例会に持ちこまれます。

全町スキー教室 雪不足のため延期

一月二十四日に開催の予定でありました「全町スキー教室」は森山スキー場が雪不足のため延期することになりました。今後積雪の状態をみて開催する予定です。

児童体位について

町内各小学校五校と比較して、本校は次のような実態になっている。ただし、ページ数の関係と測定数字を省く。

| 学年 | | 身長 | 体重 | 胸囲 |
|----|----|----|----|----|
| 一男 | 一男 | 二位 | 一位 | 一位 |
| 一男 | 二女 | 一位 | 一位 | 一位 |
| 二女 | 二女 | 三位 | 一位 | 一位 |
| 二女 | 三女 | 一位 | 一位 | 一位 |
| 三女 | 三女 | 一位 | 一位 | 一位 |
| 三女 | 四女 | 一位 | 一位 | 一位 |
| 四女 | 四女 | 一位 | 一位 | 一位 |
| 四女 | 五女 | 一位 | 一位 | 一位 |
| 五女 | 五女 | 一位 | 一位 | 一位 |
| 五女 | 六女 | 一位 | 一位 | 一位 |
| 六女 | 六女 | 一位 | 一位 | 一位 |
| 六女 | 六女 | 一位 | 一位 | 一位 |

全体のみにみると身長は女の方がよい。体重は平均的であるが、胸囲は六校のうち一番小さい。本

善意

老人ホーム・幼稚園・学校 善意銀行にたくさんの善意 善意銀行 つぎのかたから物品がよせられました。

- 物品
村井 正 (田町) 衣類
石川富司 (館岡) 雑誌
伊藤さんからそばは六十人分
十二月三十一日、老人ホームに大川一区の伊藤金干加さんから年越そば六十人分が送られ老人達はお喜びでした。

献血ありがとうございます

一月十八日「献血あつつき号」米町のおり、つぎのかたが献血してくださりました。感謝いたします。

- 五城目町農業者共済組合
小林又男
秋田中央交通株式会社
相馬清美 菅原昭男 松橋兼巳
西井信夫 小玉徳雄 館岡一徳
小玉光代 田中 稔 浅野辰光
金子喜作 小玉哲司 藤本忠治
金野康美 沢田石兼美 石井ふさ子 佐藤一征 石川 栄
池田織物学院
石井栄子 一関英子 土橋房子
湖東病院
佐々木豊和 川村勝美
五城目営林署

先生の香典返しに幼稚園の教育施設整備に役立ててほしいと二万円がよせられました。(株)秋田放送から 北ノ又分校(本棚) 一月五日杉沢小学校北ノ又分校に(株)秋田放送から金属製組立式本棚が寄贈され図書保管、整理に使用され大変よろこんであります。

- 秋田市の志摩さんから 携帯用拡声器・地図掛など 十二月二十六日五城目小学校に志摩一郎(秋田市土崎産)さんから携帯用拡声器・回転式地図掛・掛図保存スタンドが寄贈され学校の行事、教材用具の整理に使用され大変よろこばれております。
- 平ノ内幸作 高崎良甫 小玉通憲 館岡次夫 館岡与二郎 工藤信一 小浜秋雄 萩山友藏 加藤与三 通済輝之 猿田昭夫 大森誠治郎 村上善作
- 五城目保健所
佐々木三次 菅原重雄
湯ノ又 沢田石孝喜
- 五城目町役場
小林昭雄 阿部三郎 八柳一巳
京野孝之助 佐々木巧 金子貴北島幸雄 小熊弘一 石井茂雄
山山啓作 中道ユキ 畑沢雄雄
石井光雄 石川茂直 伊藤文雄
宮川謙一 大石定辰 猿田正一
畑沢兼道 小野 博 金野 実 一関勝巳

たはこは町内から
買いました

暮らしの案内

2月8日から

住民税の申告相談はじまる

住民税の申告相談について

町民税につきましては、日頃何かと御協力をいただき厚く御礼申し上げます。さて昭和四十六年度の住民税については、左記のとおり申告相談を受けては、資料を持参し、お忘れなく申告して下さい。

- 一、昭和四十六年一月一日現在満二十才以上の方で前年中に所得のあった方(ただし自己の勤労による所得が十万円以下、その他所得五万円以下の配偶者、親族は必要ありません)
- 二、本人が未成年者、若年者、寡婦であつても、前年中に三十二万円をこえる所得のあった方
- 三、給与支払報告書を提出された方も、他に所得のあった場合

四、国民健康保険に加入している方
申告をしくともよい方
一、前年中所得のなかつた方
二、本人が障害者、未成年者、若年者又は寡婦で、前年中の所得が三十二万円以下であつた方
三、給与所得のみで勤務先から給与支払報告書が提出された方
四、生活保護法により生活保護を受けている方
持参する資料
一、収支に関する帳簿

叙位叙勲の申請を

戦没者の叙位叙勲の申請をまだされてない家族は、早めに申請手続きをとってください。

住民課

- 二、健康保険料
- 三、生命保険料の引金の証明書または受領書
- 四、医療費又は証明書の受領書
- 五、その他参考となるもの
- 六、印かん

にせ税理士にご注意

税理士は、納税者の依頼に応じ、所得税や法人税などの国税や地方税について、申告や申請、税金の還付などの税務代理や税務書類の作成、申告や納税の相談に専念することを仕事としています。税理士の業務は、国の税理士試験に合格した者で、公認会計士、弁護士などで一定の手続きをした人しか行なえないことになってい

ます。税金を他人に依頼するときは、税理士の資格をよく確かめ、資格のない人に依頼することのないようご注意ください。

引揚者特別交付金の請求期限が迫りました

引揚者、引揚者の遺族および引揚前死亡者の遺族に特別交付金を支給しています。

この特別交付金は終戦時または特定時点の年齢や在外年数などに応じて一人最高十七万円から二万円(遺族支給するものは七〇%)までの額を国庫で支給します。

この特別交付金の請求することのできる期限は、昭和四十六年三月三十一日までとなっております。この日までに請求書を出さない、と、特別交付金を受ける権利を失います。

締切期限が迫っていますのでまだ、請求されていない方は、一日も早く窓口で請求の手続きをして下さい。

| 月日 | 曜日 | 町内名 | 申告会場 |
|-----|----|----------------------|---------|
| 2.8 | 月 | 広ヶ野、希望ヶ丘、田町 | 役場第2会議室 |
| 9 | 火 | 今川町、御成町、小池町、新原町、紀久米町 | 〃 |
| 10 | 水 | 新町、古川町、長町、俣町 | 〃 |
| 12 | 金 | 畑町、一番町、米沢町 | 〃 |
| 13 | 土 | 築地町、館町 | 〃 |
| 15 | 月 | 矢場崎、樋原町、昭徳町、鶴雀 | 〃 |
| 16 | 火 | 新畑町、久保、館越 | 〃 |
| 17 | 水 | 高崎 | 〃 |
| 18 | 木 | 全町事業税50人 贈与21人 譲渡24人 | 役場第1会議室 |
| 19 | 金 | 全町事業税50人 譲渡40人 | 〃 |
| 20 | 土 | 上樋口 | 役場第2会議室 |
| 22 | 月 | 大川所得税(農業者分) | 大川出張所 |
| 23 | 火 | 大川を除く全町同上 | 役場第2会議室 |
| 24 | 水 | 岡本 | 岡本公民館 |
| 25 | 木 | 野田、浦横町 | 〃 |
| 26 | 金 | 杉沢、合地、恋地、坊井地 | 杉沢公民館 |
| 3.1 | 月 | 密沢寺、門前、寺庭 | 農協馬場目支所 |
| 2 | 火 | 全町所得税(営業業分) | 役場第1会議室 |
| 3 | 水 | 町村、蓬内台 | 馬場目支所 |
| 4 | 木 | 中村、平ノ下 | 農協馬場目支所 |
| 5 | 金 | 脇乙、落合、高子、北々口 | 落合公民館 |
| 6 | 土 | | |
| 8 | 月 | 富田、八田、台、御藏下 | 農協富津内支所 |
| 9 | 火 | 下山内、上山内 | 〃 |
| 10 | 水 | 浅見内、小川口 | 農協内川支所 |
| 11 | 木 | 湯ノ又、小倉、黒土 | 〃 |
| 12 | 金 | 一、二、三区 | 大川出張所 |
| 13 | 土 | 四区、石崎 | 〃 |
| 15 | 月 | 下樋口、西野、谷地中 | 〃 |
| 16 | 火 | 事務整理 | |
| 17 | 水 | | |

※① 申告する方は住民税の申告をする日(後)は申告する日(後)に申告してください。申告する日(後)は申告する日(後)に申告してください。

② 申告する方は住民税の申告をする日(後)は申告する日(後)に申告してください。申告する日(後)は申告する日(後)に申告してください。

私の研究

生活の共同化について

都市化された農村、近代化された農業、そこにかあちゃん農業、主婦労働の過重という大きな問題を投げかけられてしまつた。主婦労働の過重に伴い家事労働の疎外が著しく食生活、健康管理には勿論子供の教育等いろいろなる社会問題にまでも及んでおります。そこで少しでも解消しようとするのが農繁期の共同炊事でありました。

昭和四十二年秋より三十三年度の共同炊事(田植刈取)の共同炊事は、健康管理の向上に役立っております。個人では出来ない共同というものが働いて農村近代化の道へ近づけることを知りました。農外依存度が高くなり、農村にあり特に私共の様な外農村では、今後外農村の話し合いも共同の力で「生産性の高い明るい農業」に対応する機努力したい。近代化パイロットの田地の区画整理、生活総合センターあるいはここにある労働調査等は町、普及所、農協など指導関係の指導援助によるものも多大であるが、受け入れの私共農村がこの方向で話し合いを要求し、導入した諸事業を積極的に活用して常に進歩して参る必要があると存じております。



高崎武田テル

研究結果
昭和四十四年春農繁期中の共同炊事加入者、非加入者の労働比較

検査対象者
共同炊事加入者 男四名 女五名
非加入者 男二名 女二名
検査面において、共同炊事加入者は、脂肪、たんぱく質、カルシウムすべての栄養面において非加入者より多く摂取され

研究対象者
共同炊事加入者 男四名 女五名
非加入者 男二名 女二名
検査面において、共同炊事加入者は、脂肪、たんぱく質、カルシウムすべての栄養面において非加入者より多く摂取され